

TOTO

密結形ロータンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

⚠️ 注意

	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらし、財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。

2 同梱部品の確認

■陶器タンクから内部金具を取り出します。
 ※部品があるか、下記表を参照して確認してください。

名称	個数	略 図	備 考
レバーハンドル	1セット		
手洗い金具	1セット		手洗い付きの場合のみ
排水パッキン	1個		
取付ボルト	2個		
止め輪	2個		
ワンタッチナット	2個		
止水栓	1箱		止水栓付きの場合のみ
ボールタップカバー	1個		
浮玉	1個		
施工説明書	1枚	本 紙	
取扱説明書	1冊		
ウォシュレット用給水ホースクランプ	1個		ウォシュレットの給水ホース引掛け用→ ⑭
カバー	1個		
樹脂タンクユニット	1セット		

3 各部の名称と施工のポイント

既設給水位置について

既設給水に使用可能範囲については、便器に同梱の施工説明書をご覧ください。

ポイント①

パッキンの方向に注意!
(→ ④-①)

↑タンク側
↓便器側

ポイント②

手で締め付けてください!
工具使用禁止!
(→ ④-③)

ポイント③

レバーハンドル、スペーサーの取付方向に注意!
(→ ④)

ポイント④

手洗い金具は手洗い連結管に確実に差し込むこと!
(→ ⑫)

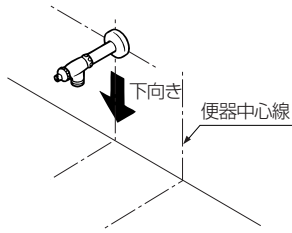
ポイント⑤

フィルター掃除をするときは必ず止水栓を止めること!
(→ ⑬)

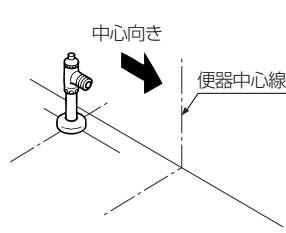
4 施工要領

① 止水栓の向き

〈左壁給水の場合〉



〈左床給水の場合〉



※器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

※壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付けように、止水栓の接続口の向きを調整してください。

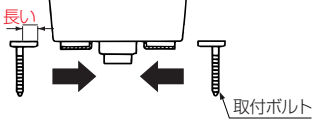
※右給水の場合は、便器中心線に対し左右対称になるように施工してください。

② 便器の取り付け

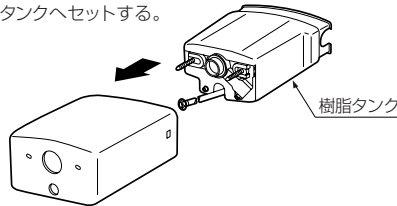
便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

③ 樹脂タンクの取り付け

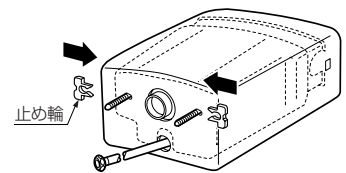
① 樹脂タンクを底部のボルト差し込み部に、**取付ボルトの頭の長い方から**差し込む。



② 陶器タンクへセットする。

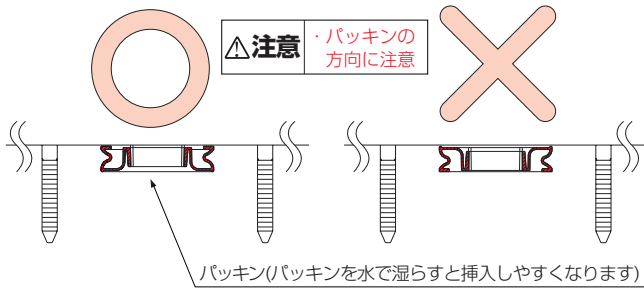


③ 止め輪で取付ボルトを固定する。



④ ロータンクの取り付け

① ロータンクにパッキンを取り付ける。

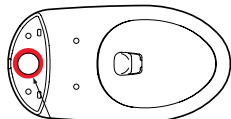


注意

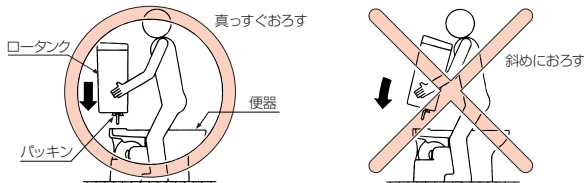
- ・同梱のパッキンを上図のように取り付ける正しく取り付けないと水漏れします。
- ・パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する

② ロータンクを便器に取り付ける。

便器給水口周辺のごみなどを完全に取除いたあと、ロータンクを便器に取り付けてください。(水で湿らせるとパッキンが滑りやすくなり、施工が確実に行えます)



下図のようにロータンクを真っすぐおろすように便器に取り付けると確実にシールできます。



注意

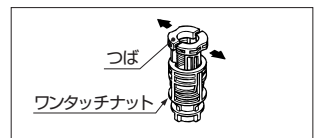
- ・パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く水漏れするおそれがあります。
- ・ロータンクを斜めにおろさない
パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れするおそれがあります。

③ ワンタッチナットでロータンクを固定する。

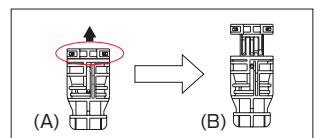
注意

- ・左右のワンタッチナットを確実に締めること
左右のワンタッチナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

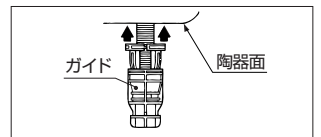
(1) つばが広がっていることを確認します。



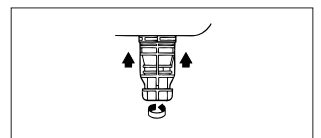
※(A)のとき、つばを引っ張り上げ(B)の状態にします。



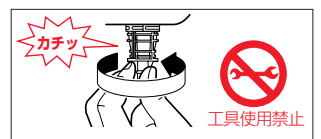
(2) つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込みます。



(3) ガイドを少し回しながら押し上げます。



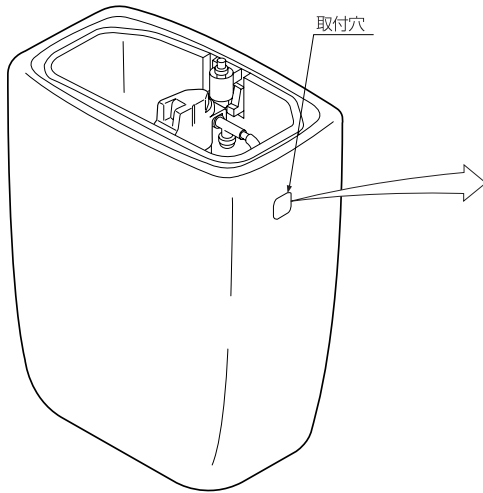
(4) 手締めで、「カチッ」と音がするまで(クリック感があるまで)締め付け、さらに、回らなくなるまでかたく締め付けます。
※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



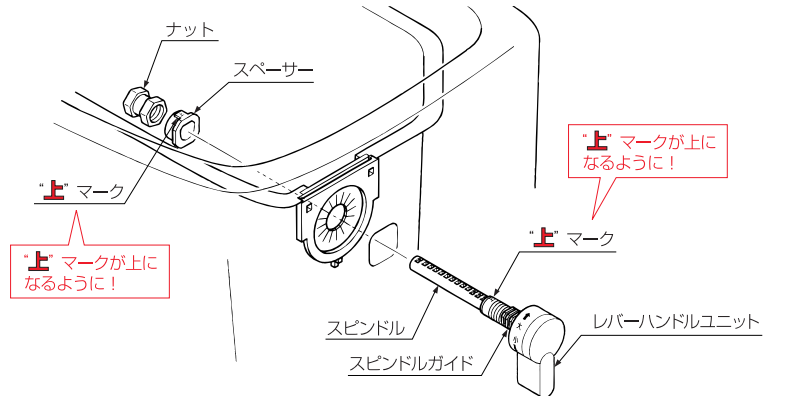
注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

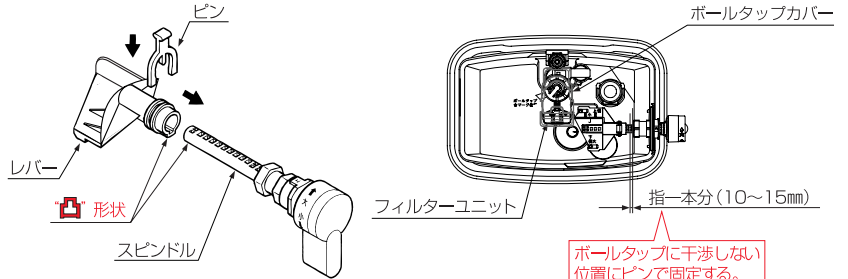
⑤ レバーハンドルの取り付け



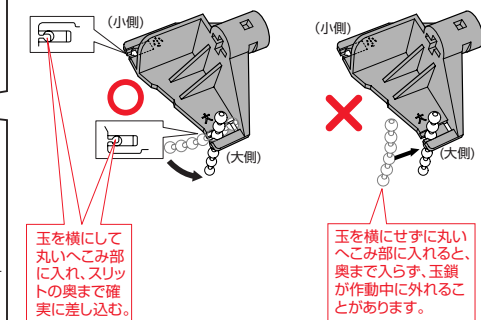
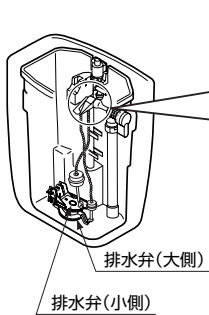
- (1) レバーハンドルユニットを陶器タンクのハンドル取付穴に、スピンドルガイド先端の「上」マークを上にして差し込みます。
- (2) スペーサーの「上」マークを上にして、スピンドルガイドの「上」マークに合わせて奥までめ込みます。次に、スピンドルガイドにナットをねじ込み固定します。



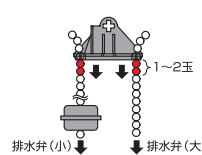
- (3) レバーをスピンドル先端から「凸」形状に合わせて差し込み、ピンで固定します。



⑥ 玉鎖の取り付け



排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。
(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたるみます)



※排水弁形状が異なる場合があります。

注意事項

【玉鎖の長さ調整】

玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと

たるみ過ぎ 張り過ぎ



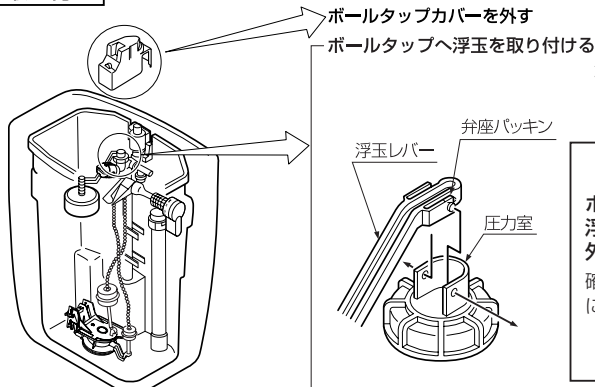
⑦ 動作確認

排水弁・レバーハンドルの動作を確認する。

- ① レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ② レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ レバーハンドルを「大」側に回したときは上下両方の弁が開くこと。
- ④ レバーハンドルを「小」側に回したときは上側の弁のみが開くこと。

※正常に作動しない場合には、玉鎖のたるみが1~2玉ぐらいになるように調節してください。

⑧ 浮玉の取り付け

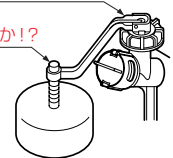


浮玉レバーに弁座パッキンがついていることを確認し、浮玉レバー先端の突起部(2カ所)を圧力室の穴(2カ所)へ、確実にめ込んでください。

ボールタップに浮玉を取り付けたあと、浮玉レバー部の外れ、スレおよび浮玉が外れていないかを確認する
確実に接続されていないと止水不良の原因になります。

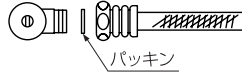
外れ、スレはありませんか!?
スムーズに動きますか!?

外れていませんか!?

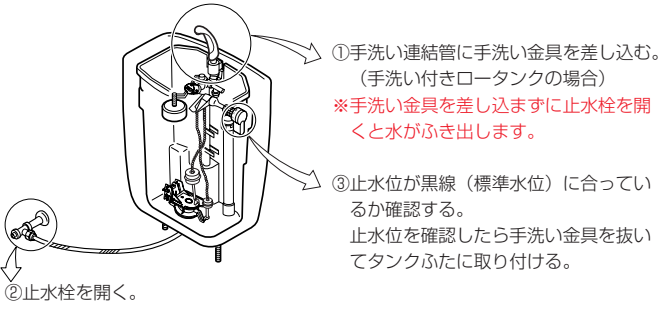


9 給水フレキホースと止水栓の接続

- ・給水フレキホースにねじれ、折れなどのないよう
- ・に接続する。
- ・パッキンを右図の位置に必ず組み込む。

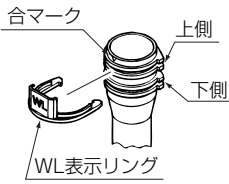


10 止水位の確認

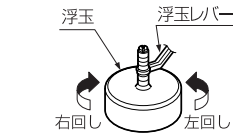


- ①手洗い連結管に手洗い金具を差し込む。
(手洗い付きロータンクの場合)
※手洗い金具を差し込まずに止水栓を開くと水がふき出します。
- ②止水栓を開く。
- ③止水位が黒線(標準水位)に合っているか確認する。
止水位を確認したら手洗い金具を抜いてタンクふたに取り付ける。

止水位が黒線(標準水位)に合っていない場合のみ下図の要領で調整してください。

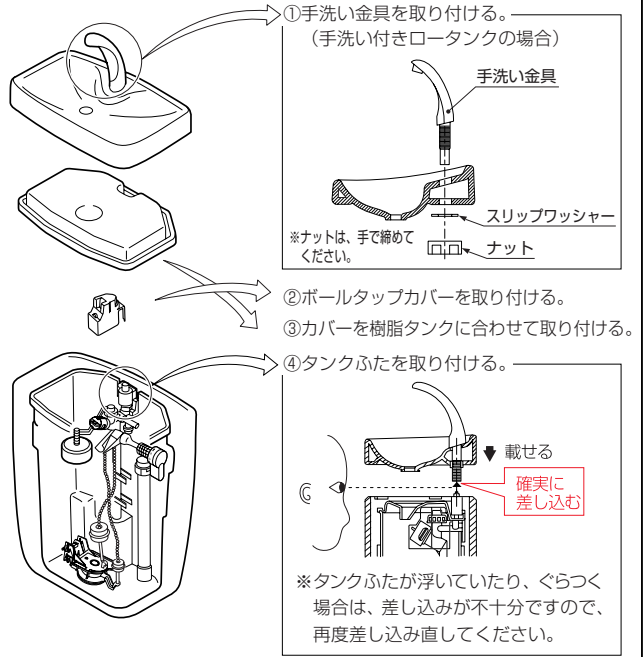


WL表示ラインは、オーバーフロー管の上側・下側に2カ所にセットできる構造になっていますが、水量に合わせて所定の位置にセットして出荷していますので、位置の変更は不要です。



- ・右回し……止水位が下がります。
- ・左回し……止水位が上がります。

11 タンクふたの取り付け



①手洗い金具を取り付ける。
(手洗い付きロータンクの場合)
手洗い金具
スリップワッシャー
※ナットは、手で締めてください。

②ボールタップカバーを取り付ける。
③カバーを樹脂タンクに合わせて取り付ける。

④タンクふたを取り付ける。
載せる
確実に差し込む
※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

注意 カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む水漏れの原因になります。

12 取り付け完了後の確認

- ・2~3度洗浄させて、便器・タンク内外の水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、「13 フィルターの掃除」を参照して掃除を行う。

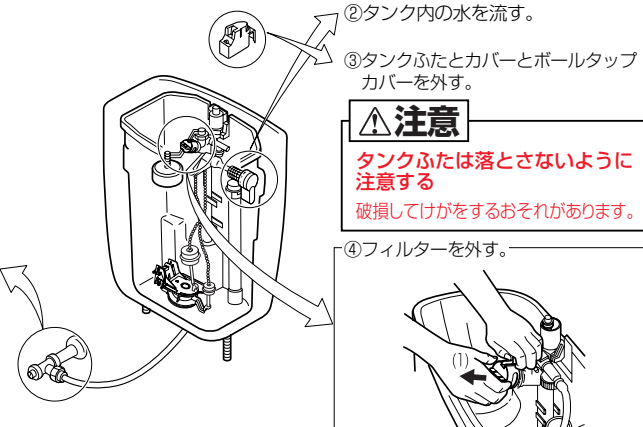
保守などについて

13 フィルターの掃除

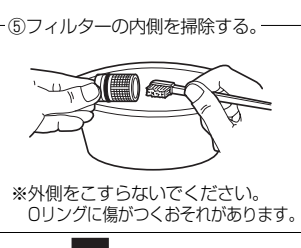
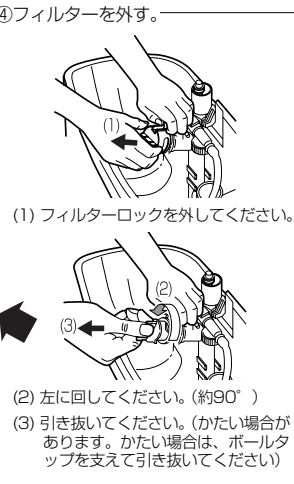
- ①止水栓を閉める。

注意

- ・フィルター掃除前にお読みいただき手順を守る
- ・手順を守らないと水漏れするおそれがあります。
- ・フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う
- ・水圧でフィルターが飛び出すことがあります。



注意 タンクふたは落とさないように注意する
破損してけがをするおそれがあります。

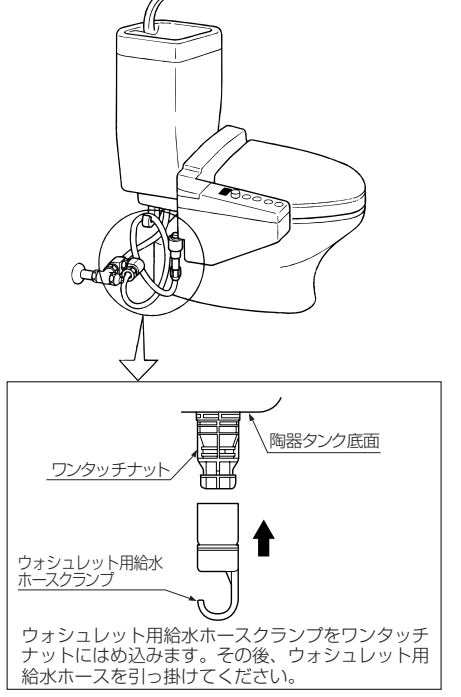


- ⑤フィルターの内側を掃除する。
※外側をこすらないでください。Oリングに傷がつくおそれがあります。
- ④左に回してください。(数回転)
⑤引き抜いてください。
- ③引き抜いてください。(かたい場合は、ボールタップを支えて引き抜いてください)
- ②左に回してください。(約90°)
- ①(1) フィルターロックを外してください。

- ⑥フィルターをつける。
・掃除後は、逆の手順でフィルターつけてください。
・フィルターは右に約90度カチッというまで(突起部が合うまで)確実に回してください。
・フィルターロックをはめ込んでください。
- ⑦ボールタップカバーを取り付ける。
- ⑧作動の確認。
10 ~ 12 の要領で正常に作動するか確認してください。

14 ウォシュレット用給水ホースクランプの取り付け(ウォシュレットが取り付けの場合)

ウォシュレット用給水ホースの取まりがよくないときは下図のように使用する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
※BL品 (BLマーク証紙貼り付け品) において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の取扱いには (財) ベターリビングのBL保険が利用できません。
保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。
財) ベターリビング ホームページ: <http://www.cbl.or.jp/>
電話番号: 03-5211-0559